

在宅医療・介護連携に関する 相談窓口について

●地域の医療・介護関係者の方からの在宅医療・介護の連携に関する相談等に対して、必要な情報提供、支援・調整を行います。対応は個々のケースで異なりますので、実際の支援については、相談者と調整しながら進めていきます。

●対象となる方

【医療・介護の関係者の方】

- ・ 医師・連携室担当職員の方
- ・ ケアマネジャー
- ・ 医療・介護関係者
- ・ 福岡市地域包括支援センター等

●こんな活動をしています

- ・ 地域医療機関と介護事業所の機能等の情報収集
- ・ 多職種連携研修の運営
- ・ 在宅医療の住民啓発(講演会等)



東区・博多区相談ダイヤル

080-8350-2933

中央区・南区相談ダイヤル

080-8350-2702

城南区・早良区・西区相談ダイヤル

080-8350-2615

●窓口開設日

月曜日～金曜日

(祝日・お盆・年末年始を除く)

●相談時間

午前9:00～午後5:00

〒814-0001

福岡市早良区百道浜1-6-9

(福岡市医師会医療介護推進課内)

FAX 092-852-1510



在宅医療・介護連携に 関する相談窓口

～医療・介護従事者のみなさまへ～



まずはお気軽にご相談ください。

福岡市医師会

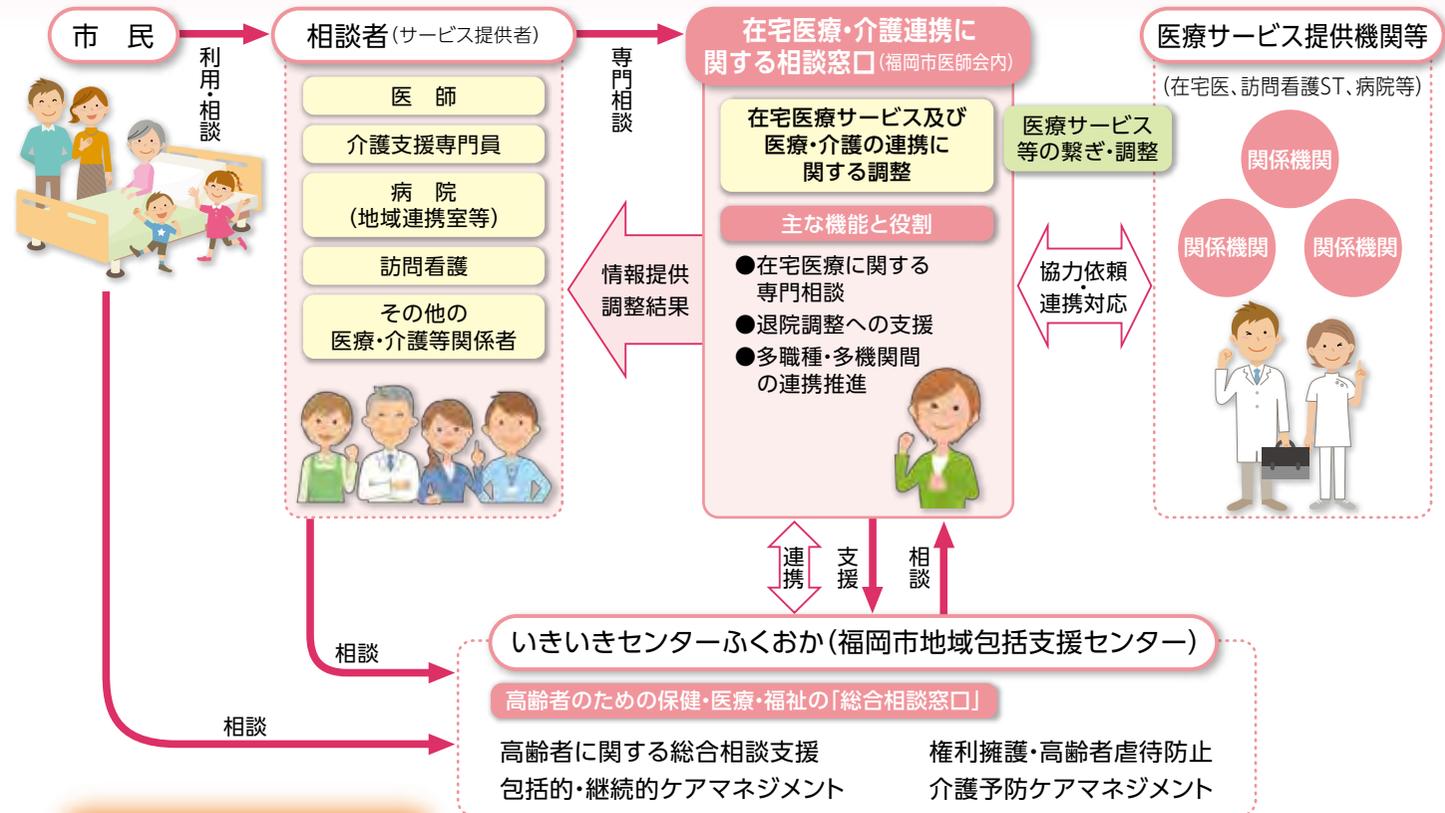
今までの相談例

- ◎在宅医、往診医の先生を知りたい。広いエリアで探したい。
- ◎転院可能な医療機関やレスパイト先を検討したい。
- ◎訪問診療や訪問看護の特色を踏まえて依頼したい。
- ◎自宅で看取りたいが、家族の力になってくれる医師はいるか知りたい。
- ◎退院後の調整をしていくときの地域での情報を知りたい。
- ◎医療依存度の高い人のケアマネジメントについて相談したい。
- ◎薬剤師や訪問歯科の指導を希望されている。今まで依頼した事ない。どこに繋がればいいだろうか？
- ◎医療処置(点滴・吸引・胃ろう)を受けながら在宅療養をどうすればできるだろうか？
- ◎医療処置を受けていても、入所できる施設はあるだろうか？
- ◎医療や介護のサービスの課題を整理して、支援方針を検討したい。

等



支援・調整フロー図



連携調整の例

◎退院調整支援に関する事(病院の連携室からの相談)

- ・がん末期で入院中。「布団の上で死にたい」と本人が在宅での看取り希望している。生活保護を受給し、キーパーソンはパートナーの方。介護認定なし。情報を整理し、どう制度を利用しサポートチームを組むとよいか、情報を集めたうえで、支援方針を一緒に検討してほしい。

【対応結果】

- ・本人やパートナーの希望と病状に対応できる在宅医、訪問看護事業所と居宅介護支援事業所を探し、調整結果を連携室の方に情報提供しました。自宅での医療介護サポート体制が段取りでき、役割分担できたため自宅に戻ることができました。数ヵ月後に再度入院されましたが、ご本人の希望にかなう在宅生活を送る時期があったことを喜ばれました。